

市政に関する一般質問通告一覧

平成27年第1回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

日	時	質 問 議 員
3月3日(火)	午前9時30分～	1. 久世孝宏
		2. 山本博信
	午後1時00分～	3. 鈴木幸彦
		4. 岩田玲子
		5. 山本半治
3月4日(水)	午前9時30分～	6. 中村宗雄
		7. 松本如美
	午後1時00分～	8. 鈴木好美
		9. 成田吉毅
		10. 中川健一
3月5日(木)	午後1時30分～	11. 竹内功治

3月3日(火) 午前9時30分～

1. 18番議員 久世孝宏 (創政会) 【一問一答】

1 半田市と自治区の関係について

(1) 半田市は自治区に何を望むか

- ①半田市にとって自治区の役割は何ですか
- ②これからの時代、半田市は自治区に何を求めたいですか
- ③ふくし井戸端会議など、学校区単位で整備をしているものもありますが、自治区単位ではなく、学校区単位での整備とした理由は何ですか
- ④自治区にまかなってほしい事項について、半田市はどのように支援をしていきますか。特に、自治区が長期的に課題に向き合える体制など、自治区が活動しやすいように、半田市が導く必要があると考えますがどうですか

(2) 学校区など、各種の境界について

- ①時間がかかっても、自治区と学校区など、各種の境界を揃えていくべきと考えますがどうですか

2. 12番議員 山本博信 (無所属) 【一問一答】

1 津波避難計画について

(1) 津波避難計画について

- ①津波被害の想定はどのようなものですか

- ②計画策定の目的は何ですか
- ③計画策定の前提とする条件は何ですか
- ④計画策定の基準とするものは何ですか
- ⑤計画策定の進め方はどのようにするのですか
- ⑥避難計画の周知はどのようにするのですか

3月3日（火）午後1時00分～

3. 4番議員 鈴木幸彦（創政会） 【一問一答】

1 過去の一般質問に対する回答の進捗について

(1) 生活道路の交通安全対策について

①衣浦大橋へ向う国道247号の渋滞を回避する車により通学路でもある生活道路が危険にさらされていることについて、解決策として具体的にどのような改善をしたか

②さらなる改善のためこれからの向けての計画はどのように進めていくか

(2) 亀崎埠頭から発生する環境問題と今後の衣浦港湾計画について

①近隣住宅地への悪臭、木材チップの飛散問題について解決策として具体的にどのような改善をしたか

②さらなる改善のためこれからの向けての計画はどのように進めていくか

(3) 生命と財産を守る雨水対策について

①大雨により、水路や側溝の氾濫が原因で多くの住宅浸水被害が出た問題について、解決策として具体的にどのような改善をしたか

②さらなる改善のためこれからの向けての計画はどのように進めていくか

4. 6番議員 岩田玲子（至誠会） 【一問一答】

1 活気ある元気なまち未来につなぐ半田を目指して

(1) 半田市の今後の「ふるさと納税制度」について再び考える

①「ふるさと納税制度」に対する半田市の実績について

②4月からパワーアップされる予定の「ふるさと納税制度」について

③「ふるさと納税制度」のさらなる活用促進について

(2) 半田市の今後の人口減少を食い止めるための「シティセールス・プロモーション活動」について

①マーケティングについて

②PR活動について

③英語教育の充実について

5. 20番議員 山本半治（公明党） 【一問一答】

1 半田市の経済を元気にする「地域住民生活等緊急支援交付金」について

(1) 「地域消費喚起・生活支援型」交付金の有効活用について

①どんな事業で消費の喚起と生活支援を行うか

- ②本市独自の支援策について
- (2)「地方創生先行型」交付金の有効活用について
 - ①どんな事業を先行して行うか
- 2 半田市が目指す地方創生について
 - (1) 地方創生戦略の推進について
 - ①「まち・ひと・しごと」を創生する戦略を立てるための人材の確保について、どの様に考えているか
 - ②地域資源の活用をどの様に考えているか
 - ③結婚・出産・子育て・教育の環境整備の現状と今後について
 - ④地場産業の競争力強化や企業誘致への取り組みについて

3月4日(水) 午前9時30分～

6. 13番議員 中村宗雄 (無所属) 【一問一答】

- 1 半田市の公共工事の入札のあり方について
 - (1) 現在の公共工事の入札の実態について
 - ①半田市の本年度も含めた直近3年間に入札にかけられた公共工事の工事総数とその契約金額の総額はいくらですか
 - ②公共工事として予算化され、決算時での余剰金とした「不用額」は、年度ごといくらになりますか。「不用額」を生み出した主な要因も合わせてお尋ねします
 - ③半田市は入札時での上限金額である「予定価格」と、落札された金額「落札価格」との比率である「落札率」の推移は、年度ごとどのように推移していますか。
 - ④半田市は公共事業の積算基準から導きだされた「設計書金額」と入札での上限金額である「予定価格」は同額ですか。知多半島内や愛知県内など他の市町の状況も合わせてお尋ねします
 - (2) 今後の半田市の公共工事の入札のあり方について
 - ①1月30日までに国土交通省より提出が求められている適正な積算に基づく設計書金額の一部を控除する行為である「歩切り」の実態調査には、どのような回答をされましたか
 - ②適正な積算に基づく設計書金額の一部を控除する行為である「歩切り」は、改正公共工物品質確保促進法に違反する行為と位置づけられましたが、半田市は、今後どのような対応を行いますか
 - ③地産地消の観点での公共事業の地元優先発注に対して、更なる新たな取組みはお考えですか

7. 17番議員 松本如美 (日本共産党) 【一問一答】

- 1 4月から始まる第6期介護保険制度について
 - (1) 4月以降の介護保険の見直しについて
 - ①新たな総合事業(地域支援事業)について
 - ②特養ホーム入所は、原則「要介護3以上」について

- ③パブリックコメント（意見公募）とその対応について
- 2 市役所業務の民間委託を問う
 - (1) 市民課窓口業務の民間委託について
 - ①委託契約はどのような内容か
 - ②委託業務内容の専門性について
 - (2) 地方自治体と自治体職員のあり方について
 - ①自治体業務の民間化でなく、市民生活に寄り添う市政を求める

3月4日（水）午後1時00分～

8. 21番議員 鈴木好美（公明党） 【一問一答】

- 1 小学校における学習の状況について
 - (1) 授業の状況について
 - ①週5日制になって約10年経ちますが現状は、又課題は
 - ②週5日制になった事により、学力、能力、人との関わりなど、どの様になったか、又、変わった事に対する取組みは
 - ③平成26年度に文部科学省は全国学力、学習状況調査を発表したが、本市としての順位は、又、この順位に対して、どの様な対応をしたか
 - (2) 土曜日授業について
 - ①土曜日授業について、教育委員会として協議は行ったか、又、協議に対して、保護者などの意見は聞いたか、もし聞いたなら状況は
 - ②土曜日授業を行っている、他市町を把握しているか、又、把握している事に対して協議を行ったか、その結果は
 - (3) 土曜日学習について
 - ①土曜塾の考えはないか

9. 5番議員 成田吉毅（至誠会） 【一問一答】

- 1 学校運営支援協議会について
 - (1) 学校運営協議会モデル事業について
 - ①平成24年度から2年間実施したモデル校3校の学校運営協議会モデル事業の取組みの成果や評価はどうでしたか。その後どのように改善されましたか。それを踏まえ現在市内の小中学校ではどのような取組みがなされていますか
 - ②学校運営協議会モデル事業を基に平成26年から行っている学校運営支援協議会は、市内の学校すべてが行っていませんが、行っていない学校は何校あり、それぞれどのような理由で行われていないのですか。また将来的にはどのようにしますか
 - (2) モデル校は3年、他校は1年行われてきた学校運営支援協議会について
 - ①学校運営支援協議会と従来の学校評議員制度との取組みの違いは何ですか。それによりどのような効果を期待していますか
 - ②学校運営支援協議会とその組織はどのようなことをするのですか。その具体的な役割や取組みは何ですか

- ③学校運営支援協議会により実際に実施された取り組みは何がありますか。またその取り組みによって創造や開発された連携やカリキュラムにはどのようなものがありますか
- (3) 半田市の学校運営支援協議会と、国が推進する学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について
- ①国が推進する学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）には、学校運営に関して教育委員会や校長に意見を述べる権限、校長の作成した方針等を承認する権限、当該校の教職員の任用に関して意見が述べられる権限が与えられ、教育委員会はこれを尊重することになっていますが、半田市の学校運営支援協議会にはどんな権限があり何を尊重していますか
- ②平成26年4月1日現在で全国1,919校が国から指定を受けている学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）と、半田市の行っている学校運営支援協議会とは大きく異なると思いますが、国が推進する学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）に半田市が取り組まないのはなぜですか
- ③半田市の学校運営支援協議会の実施で得ようとする目的や目標、将来の姿は何ですか。またそれはこの方法で一番効果が高いとする理由は何ですか

10. 11番議員 中川 健一（無所属） 【一問一答】

1 市長が次に計画している税金の無駄使い事業について

(1) J R武豊線高架化関連事業 242 億円(半田市税 90 億円)は半田市民が誰も困っていない、目的も意味もない、費用対効果も無い全くの税金の無駄遣いである。即刻中止すべきだ

①2014 年 12 月議会で、半田市民のどのような、何人ぐらいの方から J R武豊線を高架化して欲しい、と言う要望がありましたかと私が質問をしました。ところが市長は全く答えず、意味不明な答弁で逃げていました。市長が半田市民をバカにした行為を行ったのはなぜですか

②そこで再度お尋ねします。半田市民のどのような、何人ぐらいの方から J R武豊線高架化関連事業について要望がありましたか

③予算の概要、都市計画決定と事業化の日程はどうなっていますか

④この事業の目的は何ですか

⑤242 億円もの税金を投資して、半田市役所の税収はいくら増えますか

2 多くの半田市民が直面しているいくつかの大問題はアリバイ作りだけ行い、適当にほったらかしにする一方、目的の無い J R武豊線高架化関連事業 242 億円や、やらなくても誰も困らない赤レンガ建物観光拠点化関連事業 27 億円を優先して実行するのは市長の間違ったまちづくりである

(1) 名鉄住吉町駅付近の国道 247 号交差点および踏切の渋滞は放置、岩滑の半田口駅周辺の同様の問題も放置されているのはおかしい

①名鉄住吉町駅付近の国道 247 号交差点および踏切の渋滞がボトルネック(問題の根源)となっています。これは、いつになったら解決が出来ますか

(2) 畜産農家任せの畜産臭気対策も、ここまで臭気状況が悪化していると間違った政策である

①平成 26 年度半田市環境報告書によりますと、市内のいくつかの地域で畜産臭気がよく

臭うと報告されています。私の経験もこの報告書と同様です。平成26年度予算では畜産臭気対策について農務課所管で約800万円、環境課所管で350万円、合計1,150万円が予算化されました。畜産臭気の問題が市議会で指摘をされてから8年以上が過ぎますが、未だに解決できない原因は何ですか

(3) 高齢化が進む中、自家用車から公共交通を重視するまちづくりが時代の流れである。つまり半田市の公共交通に対する投資が増えないのは間違った政策である

①バス路線対策事業費が平成26年11月公表の3か年実施計画では全く増えていない計画です。これは時代の変化を読み取ることが出来ない間違った政策と考えますかどうですか

(4) 今こそ教育投資、子育て支援予算を増やすべきにも関わらず、教育分野への投資が遅々として進まない。小中学校の学校生活支援員の予算もたいして増えず、いじめ不登校対策事業費もほとんど増えていないのは間違った政策である

①市長は2009年市長選挙で、教員増に年間1億3千万円予算化すると選挙公約に書きました。ところが、平成26年11月公表の3か年実施計画では平成27年約5,300万円、平成28年と平成29年は約5,600万円です。私は公約違反と考えますが市長の見解はどうですか

(5) 女性の社会参加のための必須のインフラである病児保育所は一体全体、いつになったら事業化できるのか

①子育て支援、女性の社会参加を促進させる重要な社会インフラが病児保育所であるはずですが。半田市役所が未だに実施出来ない理由は何ですか

(6) 小中学校や公民館、雁宿ホール、図書館、などで洋式トイレの設置が遅れている。シャワートイレに至ってはほぼ無い状況である。一般家庭では当たり前のことが市役所で出来ないのはなぜか

①中学校の校舎にある女子トイレ260器の内、洋式トイレはわずか33器です。中学校で生徒が使えるシャワートイレに至っては1つです。小中学校や公民館など公共施設で、一般家庭と比較して洋式トイレの設置が遅れているのはなぜですか

(7) 幼稚園・保育園へのエアコン設置はいつまでに設置完了するのか

①2014年9月議会で市長がやると明言をし、六か月が過ぎました。いつまでにやる事が出来ますか

3月5日(木) 午後1時30分～

11. 1番議員 竹内 功治 (志民ネット) 【一問一答】

1 若い世代に魅力のある半田について

(1) 若い世代の人口流出を防ぐ取組について

①若い世代から見た半田の魅力を、どの様に考えているのか

②若い世代の人口流出を防ぐために、どの様な取組を行っているのか

③今後、新たな取組を考えているのか

(2) 若い世代が半田に住みたくなる取組について

①若い世代が他の自治体から半田に住みたくなるために、どの様な取組を行っているのか

- ②今後、新たな取組を考えているのか
- (3) 若い世代の意見を取り入れる取組について
 - ①高校生から大学生、子育て世代の意見を取り入れるために、どの様な取組を行っているのか
 - ②今後、新たな取組を考えているのか